

誰もが快適で暮らしやすいまちづくりの推進(事業区分:道路事業)

1. 長野県の現状と課題

【現状】

○街路は、都市部の「人」「物」を運ぶ重要な役割とともに、魅力あるまちなみと都市空間を形成しているが、未整備箇所では、慢性的な渋滞の発生や安全な歩行空間が確保されていない等、都市の魅力が低下している。

【課題】

○長野県の街路整備率は、45.8%(H24時点)と、全国で最下位(全国平均66.3%)であることから、効果的かつ効率的に街路事業を推進することが必要である。また、快適な都市環境の創出に向けて都市基盤の整備が求められている。



都市部の渋滞箇所



電線類による景観の悪化

2. 計画の目標

交通ネットワーク整備により都市の骨格軸を形成し、中心部においては機能的でにぎわいのある市街地を形成する。

3. 事業の内容

【計画の期間】平成21年度～平成25年度(5年間)

【事業実施主体体】長野県他15市町村

【計画の成果目標】

計画の成果目標	H21(現況値)	H25(目標値)
道路の移動時間短縮 ※1	0分・台/日	5,000分・台/日
整備前後の歩行者数の増加 ※2	644人/12h	670人/12h

※1(道路の移動時間短縮) = \sum (整備区間内での走行時間の変化) × (当該地点交通量)

※2(整備前後の歩行者数の増加) = \sum (交通量調査による路線毎歩行者数) / (整備路線数)

【事業の主な内容】

基幹事業 : 街路事業19箇所、土地区画整理事業4箇所

効果促進事業: 新幹線駅西口整備事業、都市計画道路網の計画検討等

【箇所数と事業費】

	県	市町村	計
基幹事業	12箇所 73.6億円	11箇所 97.2億円	23箇所 170.7億円
関連社会資本整備事業	0箇所 0.0億円	0箇所 0.0億円	0箇所 0.0億円
効果促進事業	0箇所 0.0億円	11箇所 1.6億円	11箇所 1.6億円
計	12箇所 73.6億円	22箇所 98.8億円	34箇所 172.3億円

※事業費は精算額としているため、整備計画の事業費とは合わない場合があります

4. 事後評価の結果

【目標値の達成状況】

計画の成果目標	H25(目標値)	H25(実績値)
道路の移動時間短縮	5,000分・台/日	5,600分・台/日
整備前後の歩行者数の増加	670人/12h	1,010人/12h



円滑な交通の確保



無電柱化によるまちなみの整備および賑わい空間の創出



■事業効果の発現状況

○基幹事業 23箇所のうち13箇所完了(10箇所は継続)

○効果促進事業 11箇所のうち6箇所完了(5箇所は継続)

都市計画道路網の計画検討により、基幹事業対象路線を含めた効果的かつ効率的な街路網の策定を行う事ができた。

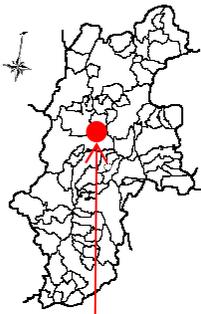
5. 評価と今後の方針

○都市部の慢性的な渋滞箇所や歩道未整備箇所を優先的に整備し、円滑な交通や安全な歩行空間を確保することにより、快適な都市空間を創出したと評価できる。

○今後は、安全な歩行空間を確保するために、未整備区間のうち、通学路を優先的に整備し、安全で安心なまちづくりを推進していく。

整備効果事例【放射・環状道路の整備】

事例① 街路事業 (都)内環状南線 松本市 鎌田



事業箇所



整備前

- ◆ 近隣には、小学校があり、通学時には、危険な横断通行がある。
- ◆ 整備前は道路の幅員が狭く、著しい渋滞が発生。



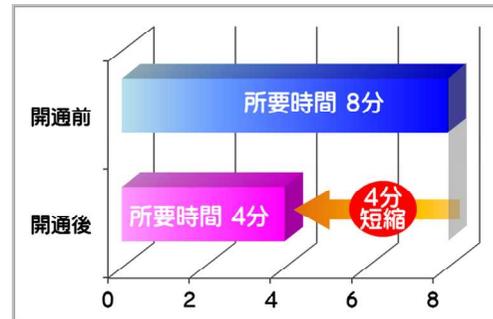
整備後

- ◆ 安全な横断通行が可能となるよう横断歩道橋を設置。
- ◆ 道路の拡幅(4車線化)により、渋滞が解消され、円滑な交通が可能に。

整備効果

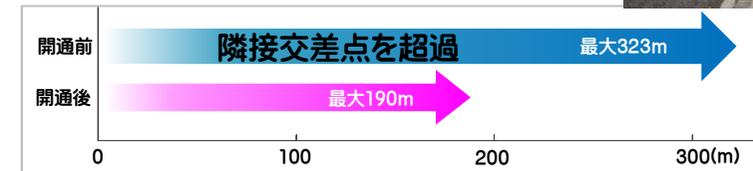
■ 都市部の移動時間の短縮

※ 鎌田交差点から中条交差点までの移動時間



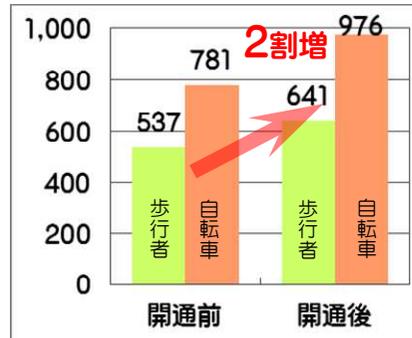
■ 都市部の渋滞が緩和

※ 鎌田交差点における渋滞長



■ 都市部での歩行者や自転車利用者が増加

※ 観測箇所: 鎌田交差点 単位: 人/12h

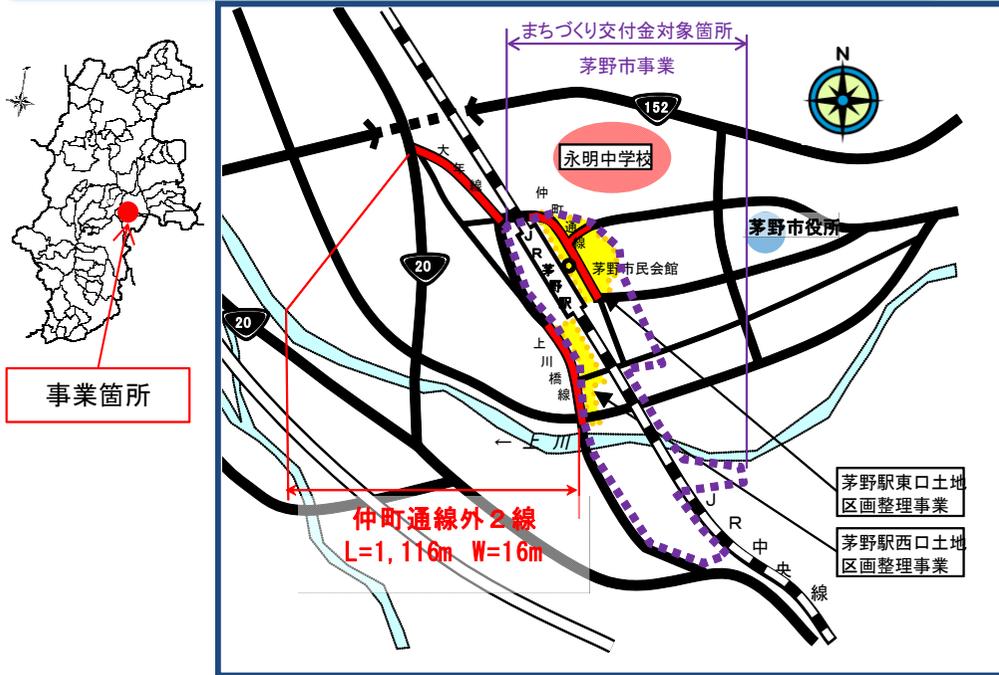


【開通前:H8調査 開通後:H26.6.10】

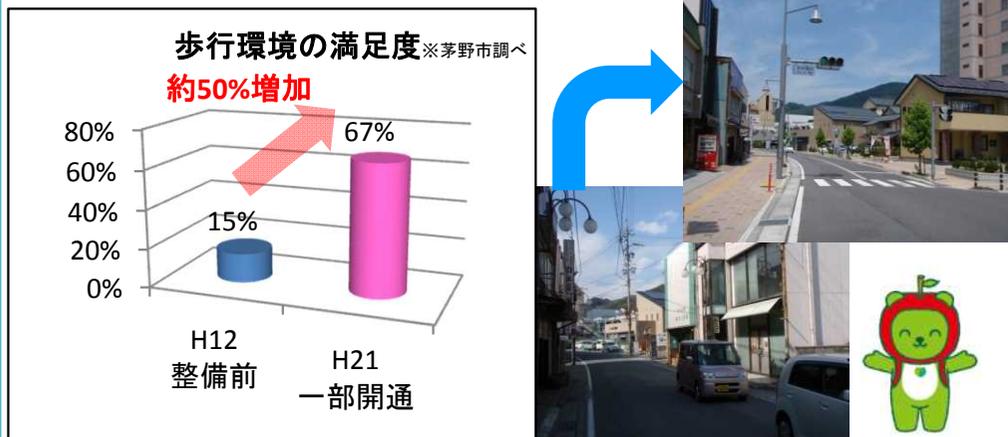


整備効果事例【中心市街地活性化支援】

事例② 街路事業 (都) 仲町線外2線 茅野市 永明



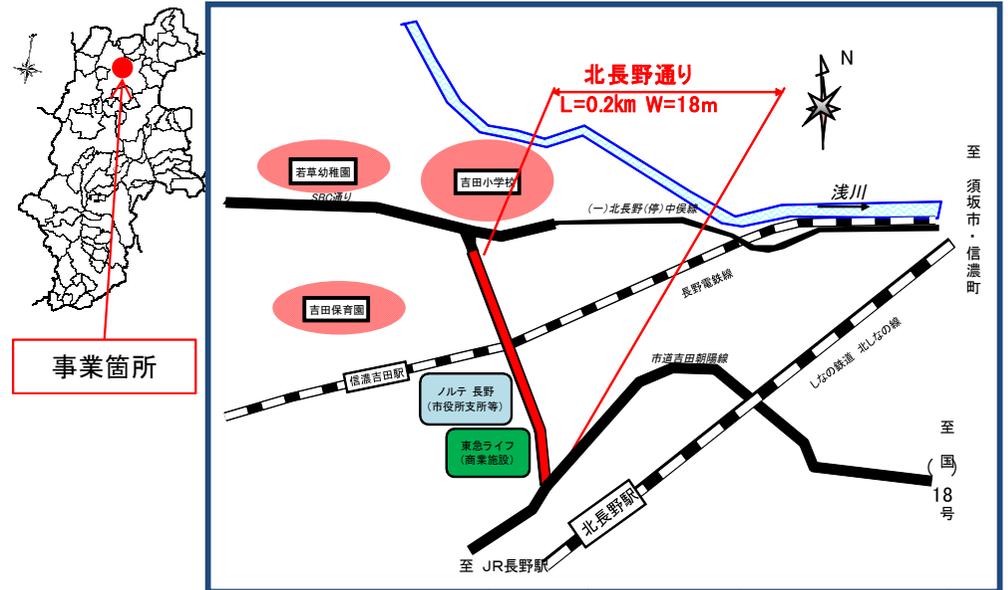
■整備※1に伴い、歩行環境の満足度が向上



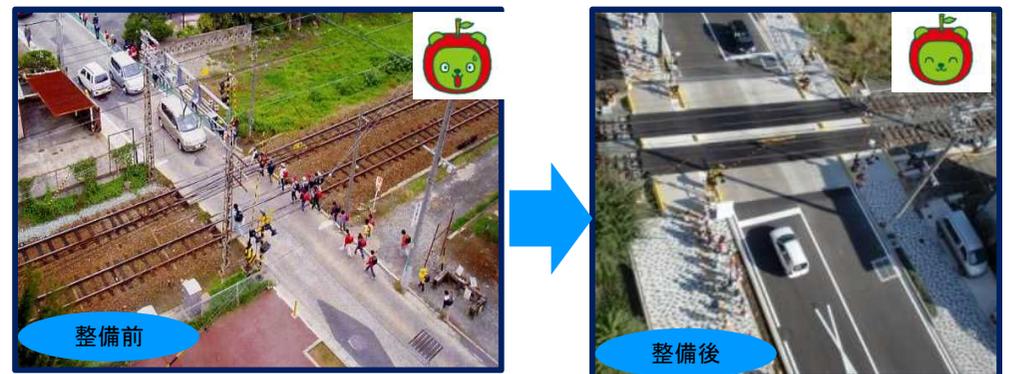
※1 街路事業に併せて、茅野市事業(まちづくり交付金事業及び土地区画整理事業)を実施。

整備効果事例【危険な踏切の解消】

事例③ 街路事業 (都) 北長野通り 長野市 吉田



■整備に伴い、踏切部に安全な歩行空間を確保



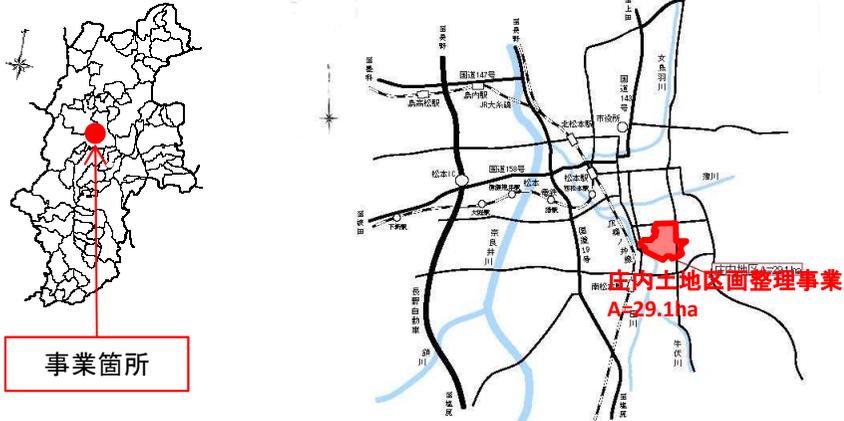
◆近隣には、小学校や保育園があるが、歩道が未整備であるため、通学時には危険な状態。

◆道路の拡幅及び歩道の整備によって、円滑な交通と安全な歩行空間を確保。

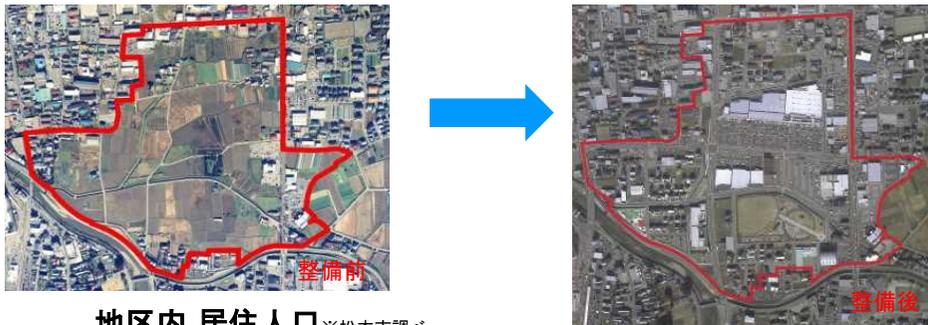
◇『工事によって、子供が安全に通学できるようになった』と利用者からの回答をいただきました。

整備効果事例【市街地整備】

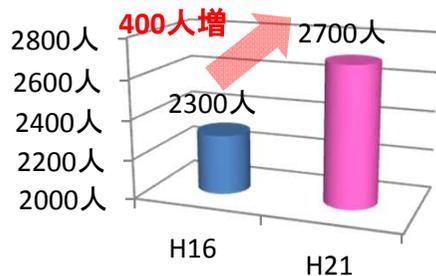
事例④ 土地区画整理事業
松本市 庄内土地区画整理事業(組合事業)



■ 整備に伴い、居住環境の改善等、土地利用の向上が図られ、居住人口の増加・市街地の活性化に寄与した



地区内*居住人口 ※松本市調べ

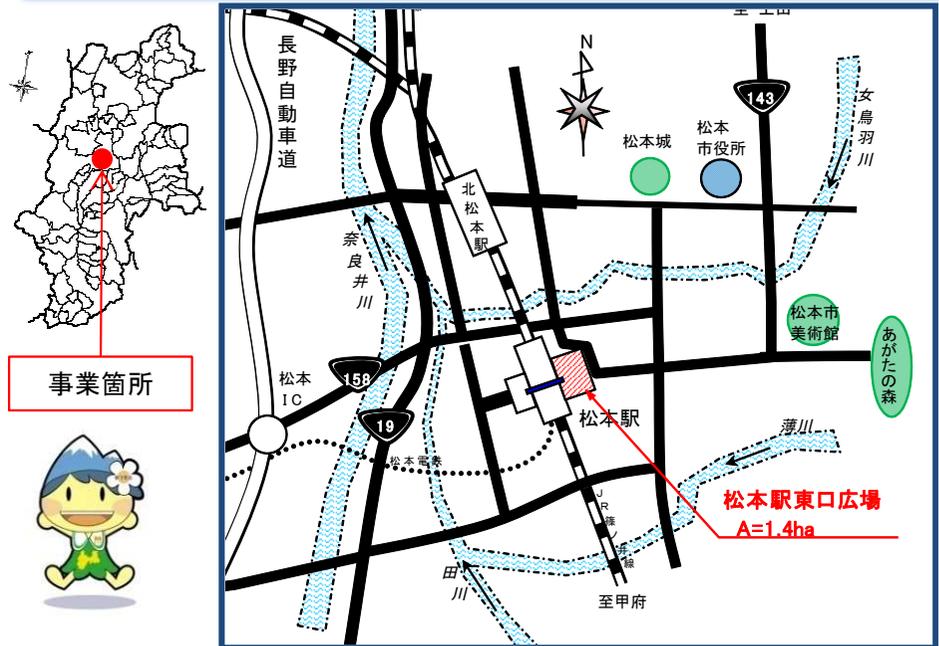


*土地区画整理事業地区を含む地区内人口



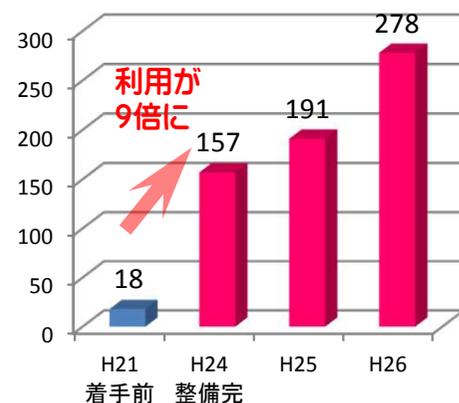
整備効果事例【交通結節点整備】

事例⑤ 街路事業 松本駅地区 (松本市事業)



■ 駅前広場の改修に伴い、都市空間としての活用が増加

イベント等での広場使用許可件数
※松本市調べ



◆タクシールームを賑わい空間として整備。